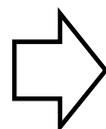


# FS・短期研究の現状と今後の実施方針(案)

---

令和3年度まで	
研究	タイプⅠ：政策実現型 タイプⅡ：技術ブレイクスルー型 タイプⅢ：新政策テーマ創造型 タイプⅣ：特定課題対応型 ※実行可能性調査(FS)も可
募集内容	・施策テーマの研究開発
研究規模	最大5,000万円/年 (FS: 1,000万円/年)
研究期間	最大3年間程度 (FS: 1年間)
備考	FSの実施後には、FS評価によりその後の研究開発の可否を審査



令和4年度から	
研究	本格研究：従来の規模 FS研究：本格研究のFS調査 短期研究：1年間の研究
募集内容	・道路行政ニーズに対応する研究開発 (従来の施策テーマ毎にニーズを設定) ・提案型研究開発 ((道路行政ニーズに記載はないが、)新たな発想に基づく研究開発の提案で、道路行政の進展に資するもの)
研究規模	本格研究：500万円から最大5,000万円/年 FS研究：最大300万円/年 短期研究：最大300万円/年
研究期間	本格研究：最大3年間程度 FS研究：最大1年間程度 短期研究：1年間程度 (連続2回までの申請可能)
備考	FS研究の実施後には、「本格研究」の申請が可能であり、採択審査により可否を審査

※R3年度までの募集制度に基づく採択案件は、研究終了まで引き続き従前の方法で継続

分類	本格研究	FS研究	短期研究
概要	<p>○道路行政の技術開発ニーズに対応する研究開発 以下の7つの施策テーマ※毎に設定した道路行政の技術開発ニーズに対応する研究</p> <p>○提案型研究開発 (道路行政の技術開発ニーズに記載はないが、)新たな発想に基づく研究開発の提案で、道路行政の進展に資するもの</p> <p>※7つの施策テーマ:                      (1)防災・減災が主流となる社会の実現                      (2)持続可能なインフラメンテナンス                      (3)持続可能で暮らしやすい地域社会の実現                      (4)経済の好循環を支える基盤整備                      (5)インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)                      (6)インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上                      (7)道路施策の実効性を確保</p>	<p>研究開発 以下に設定した道路行政の技術開発ニーズに対応する研究</p>	
		<p>本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの</p>	<p>短期的に実施可能な小規模な研究開発</p>
研究規模	500万円程度から最大5,000万円/年	最大300万円/年	
研究期間	最大3年間程度	最大1年間程度	1年間程度/回 (同じテーマで連続2回まで申請可能)
募集・採択	年1回募集し毎年3月頃に採択を決定 年間5件程度の採択を想定	通年随時募集し年間4回採択を決定 年間10件程度の採択を想定	

## ■FS研究・短期研究で募集する研究開発

公募パターン	道路行政の技術開発ニーズに対応する研究	提案型研究開発
<p>概 要</p>	<p>道路行政の技術開発ニーズは、以下の5つの施策テーマ毎に設定し、HPで公表予定 ⇒<a href="https://www.mlit.go.jp/road/tech/donyu/index.html">https://www.mlit.go.jp/road/tech/donyu/index.html</a></p> <p>※ 5つの施策テーマ：                      (1) 活力のある持続可能な地域社会の形成                      (2) 強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会                      (3) インフラ分野が先導するグリーン社会の実現                      (4) 戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化                      (5) 道路施策の実効性を確保</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         ※「第6次社会資本整備重点計画」における重点目標等より設定                     </div>	<p>(道路行政の技術開発ニーズに記載はないが、) 新たな発想に基づく研究開発の提案で、道路行政の進展に資するもの</p>
<p>研究費規模</p>	<p>最大300万円/年</p>	
<p>研究期間</p>	<p>FS研究 : 最大1年間程度                      短期研究: 1年間/回 (同じテーマで連続2回まで申請が可能)</p>	
<p>備 考</p>	<p>FS研究 : 本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの                      短期研究: 短期的に実施可能な小規模な研究開発</p> <p>※ 短期研究については、研究の実施後、更に本格研究を実施することを妨げるものではない。                      ※ FS研究・短期研究については、研究代表者及び共同研究者が民間企業を除く研究機関に所属する若手研究者(令和8年4月1日現在で40歳未満であり、大学、高等専門学校に雇用されている博士号を取得した研究者)のみで構成される場合、該当する研究課題を優先して採択することがある。</p>	

	これまで	今後																														
(1) 審査の手順	<p>応募のあった研究開発について、審査を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>応募書類の内容について、担当行政官と研究官が審査基準に基づき、必要性、有効性、効率性の観点から評価を行い、その結果等を踏まえ、新道路技術会議(分科会)で審議</p> </div> <p>審査時期は、年4回</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>応募</td> <td>審査</td> </tr> <tr> <td>3月～5月</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>6月～8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>9月～11月</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td>12月～2月</td> <td>3月</td> </tr> </table>	応募	審査	3月～5月	6月	6月～8月	9月	9月～11月	12月	12月～2月	3月	<p>応募のあった研究開発について、審査を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>応募書類の内容について、担当行政官と研究官が審査基準に基づき、必要性、有効性、効率性の観点から評価を行い、その結果等を踏まえ、新道路技術会議(分科会)で審議</p> </div> <p style="color: red; font-weight: bold;">随時募集・審査（募集期間：3月～11月）</p>																				
応募	審査																															
3月～5月	6月																															
6月～8月	9月																															
9月～11月	12月																															
12月～2月	3月																															
(2) 項目	<p>審査項目における必要性、有効性、及び効率性の詳細は下表の通り</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">研究の必要性</td> <td>社会的意義</td> <td>道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか</td> </tr> <tr> <td>科学的・技術的意義</td> <td>発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究成果の有効性</td> <td>実効性</td> <td>今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか</td> </tr> <tr> <td>業務の効率性</td> <td>研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究計画の妥当性</td> <td>実施体制</td> <td>研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか</td> </tr> </table>	研究の必要性	社会的意義	道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか	科学的・技術的意義	発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか	研究成果の有効性	実効性	今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか	業務の効率性	研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか	研究計画の妥当性	実施体制	研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか	費用	研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか	<p>審査項目における必要性、有効性、及び効率性の詳細は下表の通り</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">研究の必要性</td> <td>社会的意義</td> <td>道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか</td> </tr> <tr> <td>科学的・技術的意義</td> <td>発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究成果の有効性</td> <td>実効性</td> <td>今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか</td> </tr> <tr> <td>業務の効率性</td> <td>研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究計画の妥当性</td> <td>実施体制</td> <td>研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか</td> </tr> </table>	研究の必要性	社会的意義	道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか	科学的・技術的意義	発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか	研究成果の有効性	実効性	今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか	業務の効率性	研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか	研究計画の妥当性	実施体制	研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか	費用	研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか
研究の必要性	社会的意義		道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか																													
	科学的・技術的意義	発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか																														
研究成果の有効性	実効性	今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか																														
	業務の効率性	研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか																														
研究計画の妥当性	実施体制	研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか																														
	費用	研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか																														
研究の必要性	社会的意義	道路行政の技術開発ニーズに適合しているか・研究に社会的意義があるか																														
	科学的・技術的意義	発想や目標とする成果、研究方法にこれまでにない新規性があるか さらに新たな政策研究への展開を開けるなどの先導性があるか																														
研究成果の有効性	実効性	今後の道路行政に対する実効性のある成果が望めるか																														
	業務の効率性	研究開発により、業務の効率性が大幅に向上するか																														
研究計画の妥当性	実施体制	研究目標を達成するために適正かつ研究規模に応じた実施体制(人員、役割・責任分担、設備、スケジュール、連携先等)となっているか																														
	費用	研究成果に見合ったコストとなっており、経費の内容(外注がある場合はその必要性、範囲等を含め)も適切であるか																														
(3) 基準	<p>審査基準に沿って下記の重み付けで定量的に評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>必要性30% 有効性50% 妥当性20%</p> </div>	<p>審査基準に沿って下記の観点から定性的に評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>必要性、有効性、妥当性の各観点から評価を実施</p> </div>																														